

TU

Free magazine that introduces
Teikyo university Utsunomiya campus.

No.3

帝京大学 宇都宮キャンパス

TU No.3

発行月 2012年6月 発行 帝京大学宇都宮キャンパス 〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 TEL. 028-627-7111(代) FAX. 028-627-7184 E-mail. somu@riko.teikyo-u.ac.jp
URL: <http://www.riko.teikyo-u.ac.jp/> ご意見・ご要望をお待ちしております。郵送またはFAX、E-mailにてお寄せください。©帝京大学 2012 禁無断転載

帝京大学 宇都宮キャンパス



いまでも これからも
**柔道整復師
一直線**

2012 EVENT 01

OPEN CAMPUS

帝京大学宇都宮キャンパス / オープンキャンパス 2012

キャンパス
ライフ体験 **7/21.22**
SAT SUN

入試対策 **8/19**
SUN

3日間とも
10:00~15:00
(受付14:30まで)

**帝京大学
オリジナルグッズを
もれなく
プレゼント!**

- 3日間共通** 模擬面接や志望理由書指導でAO入試対策もバッチリ!
こんなイベント開催します! 学科紹介・入試説明会・学科棟施設・研究室案内・AO入試についての相談指導・模擬面接・個別入試相談コーナー
図書館見学・入試問題集やクラブ紹介誌などの無料配付(赤本も無料)・学食体験(無料)
- 7.21.22** 模擬講義や体験型イベントが充実! 研究室も一挙公開!
こんなイベント開催します! 大学生気分で講義体験(実際の授業より短めの30分講義)・実験・演習体験(実際に目で見、実験をやってみる、機器の操作をしてみるなど、参加体験型のイベント)・学生生活フリートーク(クラブのことや授業のことなどを帝京大生に気軽に質問できるコーナー)
- 8.19** 「英語」「国語」「数学」「物理」「生物」の5科目の過去問分析講座を開催!
こんなイベント開催します! 入試過去問分析講座(高校で教鞭をとった先生や予備校講師が過去問の傾向と対策を分析!)・AO入試で重要視される「志望理由書」の書き方講座(上手に書けるコツをレクチャー!)・保護者の方への説明会(就職のことや学費のことなど「気になること」を説明します)



2012 EVENT 02

理工系 進学体験イベント

エンジョイ! カガク!!

9/9 SUN 10:00~15:00 (受付14:00まで)

地域経済学科 プロデュースの特別企画も!

カガクのおもしろさを体験しよう!
ヘリコプターやジェット機に乗ってみたり、化学の実験を試してみたり、植物の謎に迫ったり... ものづくりや研究に携わる企業、帝京大学宇都宮キャンパスの教員による体験型のプログラムが満載!
小学生から大人まで、理工系の研究や勉強のおもしろさがたっぷり味わえます。

帝京大学 宇都宮キャンパス
〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1

経済学部 地域経済学科
理工学部 機械・精密システム工学科 / 航空宇宙工学科 / ヒューマン情報システム工学科
バイオサイエンス工学科 / 情報科学科通信教育課程
医療技術学部 柔道整復学科

アクセス ●JR東北新幹線「宇都宮駅」より関東バス5番のりば「豊郷台・帝京大学・宇都宮美術館行」「ニュー富士見行」
●当日は、JR宇都宮駅 バス5番のりばで無料チケットを配布

問い合わせ先 帝京大学宇都宮キャンパス学生サポートチーム TEL.028-627-7123
E-MAIL/gakusei@riko.teikyo-u.ac.jp HP/www.teikyo-u.ac.jp/



柔道整復学科特集

P02

P03 初の卒業生が語る 柔道整復学科の四年間

P09 柔道整復学科NEWS

① 今春から、トレーナー課程が誕生！

② 日本初！柔道整復学科の大学院が開設されました！

P10 学科長からのメッセージ

理工学部トピックス P11

P11 ① 手づくりの人工衛星が、宇宙に飛び立つ！
(航空宇宙工学科)

P12 ② 電気自動車を分解してみよう！
(機械・精密システム工学科)

宇都宮キャンパスからの
お知らせ P13

女性の先生が増えました

ドラマのロケ地になりました

宇宙トマト勉強会

宇都宮キャンパス後援会の取り組み

ピアサポートルーム開設

臨床工学技士を目指す方へ

ヘリパイロットコースの近況

菜の花畑が咲きました！

初の卒業生が語る
柔道整復学科の
四年間。

2008年に帝京大学宇都宮キャンパスに誕生した「医療技術学部 柔道整復学科」から、この春第一期生が卒業しました。そこで今回は、柔道整復学科を大特集！柔道整復師の国家試験に見事合格した卒業生のうち9名が集まってもらい、いろいろ聞いてみました。この日は、合格発表があった翌日。緊張から解放されたなか、印象に残っている授業や国家試験合格までの苦労話、お世話になった先生方のこと、今だから話せる大学生活、そして将来についてなど、喜びとともにたっぷりお話ししてもらいました。

これを読めば柔道整復学科の学生が、どのようなキャンパスライフを過ごしているかがわかるはず。先輩はもちろん、他学部のキャンパス生や、この学科を志望している高校生のみなさんも必見です！



今回の特集に協力してくれた
柔道整復学科 第一期卒業生のみなさん

-  **渡邊 将大さん**
自然な気づかいが光る 🌿 大分県出身
-  **磯部 直樹さん**
明るいムードメーカー 🌿 栃木県出身
-  **坪島 功幸さん**
首席で卒業の優等生 🌿 富山県出身
-  **黒崎 大嗣さん**
ブレイクダンスは帝京イチ！ 🌿 栃木県出身
-  **五箇 優馬さん**
集中力は学科イチ！ 🌿 群馬県出身
-  **赤星 唯さん**
はにかみマドンナ 🌿 栃木県出身
-  **角田 絵里子さん**
芯の強さが際立ちます 🌿 群馬県出身
-  **東 文博さん**
末っ子タイプで頑張り屋 🌿 青森県出身
-  **諸岡 恒平さん**
サッカー大好き 🌿 埼玉県出身

1・2年次の授業は大変だった!?

知らない言葉ばかりで、最初はチンプンカンプン。でも学ぶにつれて、どんどん内容がつながり、分かるようになった!

新生活に慣れたのもつかの間、1・2年次は基礎をきっちり学ぶ時間。そのため授業の難しさが、みなさんの思い出に強く残っている様子。特に専門科目は初めて耳にする言葉が多く、理解できずに最初は戸惑うことばかり…。しかし、各科目の内容が実は一つにつながっていることが理解できるようになると、すべての授業の大切さとそのおもしろさを実感していったようです。

「生理学」や「解剖学」は、人体の構造・機能、疾患とその原因など、医学研究の根拠となる知見を得るための「基礎医学」の一部。柔道整復師に限らず、医療系の資格取得を目指すために必要な科目です。

1・2年の授業 Pick Up

解剖学

解剖学は、ヒトの身体の構造の学問。内臓がどの位置にあるのかなどの基本的な概要や、柔道整復師として重要な基本的知識になる「骨格系」と「筋系」を詳細に学びます。

難しい用語が多く苦労しましたが、身体の構造が分かれば、どのように治したら良いのかが分かるようになります。



生理学

私たちヒトの身体を構成している組織や臓器が、どのような機能を持ち、関連しているかを学ぶ学問。「身体を支えている基本的な要素」を理解することから始まります。

生理学は柔道整復師の国家試験でも点数の比重が高い。内容は難しいですが、外せない科目ですね。



柔道実技

受身や立ち技、寝技などの練習を行います。大切なのは、柔道と柔道整復師の関係を知ること。そして最も重要な精神である、礼法(立礼・座礼)を習得します。



柔道実技担当の鈴木英明先生(左)と刈屋遵先生(右)



まずは、とにかく覚えることがポイント。初めは意味まで分からなくても、徐々に理解できるようになるので大丈夫!

なかには、柔勝だったという強者も!

他学部の授業も受けられるのは、総合大学ならでは!

宇都宮キャンパスには理工学部や地域経済学科も設置されていて、それらの科目を履修することが可能です。バイオサイエンス関連科目やロボット工学などからは、身体の構造を生物学的あるいは力学的に学ぶことができます。また、地域経済学科のベンチャー企業論などは、開業に役立ちます。多くの学生が、総合大学ならではのメリットを活かして学んでいます。

バイオサイエンス学科のゼミに入っていて、カエルの卵に超音波を当てて実験をしました。その実験が教科書で紹介され、私の名前も載りました!



アロマセラピーの授業がある?!

アロマセラピーは植物が持つ芳香成分を利用し、心と身体の健康に役立てる自然療法の一つです。芳香成分の特性を理解し、自らの心身の働きとの関係を学びます。



カリキュラムの流れ 1~2年生は基礎知識を徹底的に学び、3~4年生は卒業後を見据えた実習や国家試験の準備。柔道整復師となるための内容になっています。

	1学年	2学年	3学年	4学年
主なカリキュラム(2部抜粋)	一般教養を深め 人体の基礎知識を固める 基礎医療英語 情報基礎 生命倫理 身体の構造(解剖) 身体の機能(生理) ほか	基礎を応用へ生かし 医学知識の充実を図る 運動学と行動 臨床医学概論 整形外科総論 臨床整復セラピー 整復セラピー実習 ほか	知識と技術の応用力を高め 臨床へつなぐ 職業倫理及び関係法規 臨床医学(内科系) 臨床医学(神経系) 臨床整復技術実習 ほか	総合的知識・技術の向上を目指し 国家試験の準備と進路に向けて スキルアップする 柔道セラピー総合実習 柔道セラピー研究 臨床柔道整復セラピー実習 ほか

※教育課程を修了すると「学士(医療技術学)」の学位が授与されます。

Isobe

一期生に「特別さ」を感じたので

先輩がいなくて不安はありましたが、新しい学科の「一期生」という魅力に惹かれました!

Kurosaki

柔道をずっと やっていたから!

小学生の頃からずっと柔道をやっていて、気づいたら自然にこの学科を志していました。

Tsunoda

スポーツをする人を 助けたい!

高校の時はバスケット部のマネージャーでした。練習や試合でケガをする選手を身近で見ていて、治す仕事に興味を持つようになったのがきっかけです。

Morooka

教員の免許も 取りたくて

父が接骨院を開業していることもあって柔道整復師になるか、以前から希望していた教員を選ぶか、その二つの選択肢で悩んでいました。「決めつけるのはまだ早い、両方を学んでから決めよう」と思い、この学科に決めました。

Goka

柔整の資格と教員 免許が同時に取れる!

もともと体育の先生になりたかったんです。ここなら保健体育の教員免許が取得でき、柔道整復師も目指せる。二つの資格があれば、将来必ず役に立つと思いました。

Tsuboshima

総合大学の強みに 惹かれて

小さい頃から医療系の職業の資格を取りたいと思っていたのが大きな理由です。そして帝京大学は、柔道整復学以外の医療系や、理工系、文系なども充実している総合大学なので、さまざまな知識を身につけられると思いました。

Azuma

パンフレットを見て 感じた、運命の出会い

同じ宇都宮キャンパスにある、理工学部 バイオサイエンス学科に興味があって資料を請求したら、この学科の一期生を募集するパンフレットが入っていました。なぜか運命を感じて(笑)、中学から腰痛持ちで接骨院にお世話になっていたこともあり、この学科を選択するのもありかと思いました。

Watanabe

スポーツ選手の チカラになりたい!

高校まで体操部に所属していたこともあり、ケガなどをしたスポーツ選手を手助けする仕事をしたいなと思っていました。大学に進学したい気持ちも強かったので、柔道整復師の資格が取れるこの大学を知り、決めました。

Akahoshi

出会いは オープンキャンパス

バスケット部に入っていて、漠然と医療系に進みたいと思っていました。高校の先生に相談すると柔道整復師を薦められましたが、実はその時はまだどんな職業なのか知らなくて…。オープンキャンパスで初めて詳細を知り、興味が湧いたのがきっかけです。

なぜ、この学科を選んだの?!

スポーツ経験者から、オープンキャンパスで興味を持った人など、柔道整復師を希望する学生はさまざま。

最初の質問は、なぜ柔道整復師になりたいと思ったのか?そして、柔道整復師を目指す学校の中でも、総合大学である帝京大学を選んだ理由も含めて聞いてみました。

柔道整復師とは? 日本古来の伝統医療を継承した医療資格者です。

日本古来の武道の一つ「柔術」には、相手を殺傷する「殺法」と相手を治療する「活法」があります。それぞれ発展と変遷をとび、「殺法」の技は柔道に継承。「活法」は、負傷者を回復させる技術として受け継がれ、江戸時代に柔道整復術となりました。柔道整復術は、この「活法」から生まれたため、柔道の技や構え方から発達したものが数多くあります。柔道整復師は、この柔道整復術で骨折や脱臼、打撲などの施術を行う医療資格者。投薬や手術はせず、人間の持つ治癒能力を最大限に発揮させる治療を行っています。



栃木県以外の出身者が 割と多い?!

総合大学で、柔道整復学科のある大学は少ないせいか、栃木県内だけではなく、東北や九州などの遠方からの学生も入学しています。



3・4年次のメインは実習、そして国家試験対策!

学生生活に慣れてきたと思ったら、実習、国家試験対策、就活さらに教育実習と、大忙しの毎日!

1・2年生と比べ、3・4年生の授業は実習がメインになります。座学の授業は少なくなりますが、その分、柔道整復師合格に向けて国家試験の準備、同時に卒業後の進路を決める就職活動、さらに教員志望者は、実際に中学や高校の教壇に立つ教育実習など、やらなくてはならないことが盛りだくさん。時間配分を考えながら上手に乗り切りました!

新4年生からの質問

先輩に教えてほしいこと、気になること、聞いてみました。

これから新4年生になる3人が登場。進級にあたり知りたいことを、先輩たちに質問してもらいました。やはり、柔道整復師を目指す者として避けては通れない国家試験の勉強のことや、就職活動などが気になっていた様子。数々の経験をしてきた先輩たちの声、大いに利用してほしいですね。

柔道整復学科 4年 星 勇人さん

柔道整復学科 4年 藤藤 路子さん

柔道整復学科 4年 町田 智恵美さん



3・4年の授業、実習 Pick Up

整復技術実習

医療人の第一歩として白衣を着ることを自覚することから始まります。そして、技術実習の基礎として最初に行うのは包帯法。柔道整復師が必要とする固定材料の中でも、包帯法の重要性和難しさを学びながら、上手な巻き方、巻き戻し方を何度も実習します。技術の習得に時間を多くかけることで、実際の臨床の現場で活かせる技術を身につけていきます。また実習を行う際は、学生同士のペアで包帯を巻き合い練習することで、患者への接し方やコミュニケーションの大切さを理解できるようにします。



実習にこんなに時間がかけられるのも、4年制大学ならではのですね。とにかく何度も練習し、センスを磨きました!



附属接骨院での研修

キャンパス敷地内にある附属の接骨院で実際の治療を見ながら、その一連の流れを学んでいきます。また、患者とのコミュニケーションを通して痛みや苦しみを理解し、心から患者を思いやることのできる、豊かな人間性も身につけていきます。

これまで接骨院には患者の立場で通っていましたが、初めて術者の立場で患者さんと接することができ、いい経験になりました。



就職関連

中学と高校の「保健体育」の教員免許が取得できます。これも帝京大学ならではの特色。履修しなくてはいけない科目が増え、4年生になると教育実習もあり大変ですが、約12%の学生が教員免許の取得を志しています。特別支援学校や社会福祉施設での介護体験も行います。

教育実習の時期は、休日は少年サッカーのコーチ、平日は体育の教育実習と、かなりハードな生活をしていました。



解剖実習

板橋キャンパスの医学部附属病院に行き、実際に解剖された人体を観察します。体の各部位の位置や向きを自分の目で見て、触れることにより、知識を確実なものとし理解を深めていきます。

筋肉や神経を直に見てみたり、脳に触ってみたり…。表面からや、教科書ではわからないことがわかりました。



国家試験対策

4年生になると習熟度別にクラス分けされ、本格的な国家試験対策が始まります。前半は弱点を集中的に補い、後半になるとeラーニングや模擬試験など様々な方法で合格を目指します。今年は合格率97%と、全国平均の77%を大きく上回りました。

放課後や休みの日も、みんなで一緒に勉強したり、先生に質問しに行ったりしていました。



Q 国家試験の勉強はいつから始めましたか?
A 本格的なスタートは、夏休み明け、夏休み明け。

「本気で勉強を始めたのは、夏休み明けの9月から10月くらい。始めたのが遅かったので、集中して勉強していました。途中休憩をいれながらですが、長い時は午前中の11時から夜の12時くらいまで勉強していました(五箇)」「少しずつですが、毎日コツコツと勉強していました(坪島)」

「夏休み中に教育実習が1ヶ月あって、試験勉強が出来なくてあせりました。卒業試験が12月と1月にあつたのですが、国家試験の勉強はその合間合間にやりました。きちんと準備できなかったのが、試験前の1週間は緊張で不眠状態でした(笑)(東)」

「4年の夏から、試験勉強を始めました。3年生の時に、国家試験に対してあまり意識をしていなかったのが、夏休み以降は焦ってしまい、毎日プレッシャーを感じながら勉強していました(諸岡)」

Q 就職活動はいつ頃からどのようにはじめましたか?
A まずは国家試験合格を優先、就活はその後。

「4年生の1月くらいから始めました。接骨院はいろいろあり自分では決めかねたので、先生に希望の場所や内容などを相談。その上で納得できる接骨院を紹介してもらい、決めることができました(五箇)」

「11月までダンスに明け暮れていたのが、先生に受からないと脅かされた(笑)。年明けから真剣になりました(黒崎)」

Q 重要な科目は何ですか?
A すべての科目が重要!

「難しい科目が多いので、科目をしぼって効率的に勉強したいという気持ちになります。最終的には、全部の科目が必要なんだからに気づきました。なかでも、みんなが難しいと言っている解剖学や生理学、それと柔道整復学は国家試験でも比重が高いので、難しくても諦めずがんばって(磯部)」

Q おすすめの勉強方法やリフレッシュの方法は?
A 集中力と気分転換を上手に両立するのがコツ。

「うちで試験勉強の追い込みの時期に、宇都宮キャンパスでテレビドoramaの撮影をしていたので、よく見学していました。かなり間近で見られたので、楽しかったですね(磯部)」

「昼寝をしてリフレッシュしていました。11時間ぶっ続けてやる時もあったのですが、限界まできたら早く寝ていました。ウトウトしながら集中できずに続けるのなら、いっそ寝てしまおう(渡邊)」

Q 大学院になぜ進んだのですか?
A 柔道整復学の研究をさらに深めたい!

「日本初の、柔道整復学という学問の大学院ができたので、1年生としてがんばりたいなと思って。この4年間は国家試験に向けての勉強が主体でした。もともと研究をやりたいだったので、大学院で研究を深めたいと思っています(東)」

「ある程度、国家試験のメドがつかないと就活はできないので、私も1月以降でした(渡邊)」



Q 試験・就活から開放された今、一番したいことは?
A 我慢していた旅行や趣味に、今は没頭したい!

「ためていた文庫本を読みたい。本を読む時間もなかった(東)」

「お酒を飲みたいです。勉強のことを忘れて、思う存分飲みたい(角田)」

「ハワイに旅行に行きたい!(余星)」

「僕も速く旅行したいですね。行きたい場所は、北海道(五箇)」

「ショートムービーや映画など、動画を制作したい!他にも、釣り、ボード、ダンスをしたい。クラブにも行きたい!やりたいこと、たくさんあります!(黒崎)」

「身体を動かしたいです(坪島)」

「旅行とか、ドライブ。ゆっくりできる時間がほしいです(磯部)」

「時間に縛られない生活がしたいです(渡邊)」



生まれたての柔道整復師。これからの目標は？



Fumihiko Azuma

柔道整復師を育てたい。

大学院を出た後は、接骨院に勤めようと思っています。柔道整復学の教員になるには、実務経験が必要なので。将来は教員として働きながら、柔道整復学の研究もしていきたいです。

大学院に進学



Yuma Goka

開業を目指し、教員にもなりたい！

これから師匠のもとで知識や技術を全力で吸収し、将来、しっかり自分で開業したいと思っています。保健体育の教員免許もあるので、先生になる夢も捨ててはいません。

接骨院に就職



Naoki Isobe

自立した柔道整復師になりたい。

高齢化社会を迎えるにあたり、デイサービスなどにも携わりたいと考えています。まずは働きながら勉強して、いっぴしの柔道整復師になりたいですね。

接骨院に就職



Kohei Morooka

動き続けながら、目標を決めたい。

何年かかるかわからないけど、教員も、柔道整復師も、少年サッカーのコーチも、全部経験したいですね。いろんなことを続けながら、何に主軸をおくか決めていこうと思います。

接骨院に就職



Masahiro Watanabe

スポーツ選手のサポートをしたい。

スポーツを全面的にバックアップできる治療院をつくりたい。求められる治療のレベルは高いと思いますが、整形外科の分野も勉強して、様々なことに応えられる柔道整復師を目指します！

接骨院に就職



Katsuyuki Tsuboshima

柔道整復学を学問として成立させたい。

まだ柔道整復師は、世間的には認知度は低いのが実情です。大学院で深く研究し学問として成立させ、柔道整復師の必要性を世間に認知させていきたいですね。

大学院に進学



Yui Akahoshi

院長のレベルに少しでも早く近づきたい。

研修で訪れた接骨院に就職します。一人ひとりを大切に、かつ丁寧に施術する院長で、とても尊敬できる方です。その院長に少しでも近づけるよう、日々努力していきたいですね。

接骨院に就職



Eriko Tsunoda

女性に頼られる柔道整復師になりたい。

女性の柔道整復師のニーズは高まっていくと言われていますが、まだまだ少ないのが現状です。女性の患者さんに頼ってもらえる柔道整復師になれるようにがんばりたいと思っています。

接骨院に就職



Hirotsugu Kurosaki

地元を活性化させたい！

まずは開業ですが、いろんな会社をつくるのが夢です！なぜなら最終的な目標は、すべて地域の活性化につなげること。整骨院の開業も地域の医療を発展させるためです。あと、映像制作は今後も続けていきたいですね。

接骨院に就職

柔道整復師を目指す後輩に一言！

- ・やる時は集中して、手を抜かずやれ！
- ・入学する時の何倍も、卒業するのは大変。
- ・がんばった分だけ、必ず自分に遇ってくる。
- ・やりたいことを見つけて、モチベーションは必ず上がる！

編集後記

印象的だったのが、「働く場所は別々でも、みんな柔道整復師。卒業しても離れる気がしないから、寂しくない」という声が多かったこと。第一期生であり、共通の目標に向かってきた者同士でしか生まれえない強い絆を感じました。柔道整復師という国家資格とともに、これからもずっと切磋琢磨し合える一生涯の仲間を得たみなさんの、今後の活躍を楽しみにしています！



未来へ向かってがんばるっ！

卒業後、活躍する場所はそれぞれ違います。でも、「柔道整復師」という同じ職業の仲間であることは、これからも続いていきます！

「国家試験に合格し、柔道整復師になる」という共通の思いで4年間を一緒に過ごしてきた第一期生たち。今回集まってくれた9人は無事に合格し、柔道整復師となりました。しかし卒業後の進路先、そして将来の目標は各自さまざま。それでも、4年間一緒に勉強してきた同期として、今後も同じ医療業界で活躍する仲間として、心は一つにつながっていました。

僕らの頼れる兄貴的存在！

ここで紹介する刈屋先生と庄司先生は、この学年の担任の先生。

柔道整復師として、何が出来るのか？これからどうあるべきかなど、卒業後、医療人として確かな第一歩を踏み出せるよう、学力の向上だけでなく、コミュニケーションの大切さや心構えなどを、医療人の大先輩として教えてくれました。



刈屋 太郎 講師

大学では気さくな性格で親しみやすい先生だけれど、現場ではプロフェッショナル。特に患者への接し方には厳しく指導されました。その一方、先生自らBBQを開催したり、先生が関わる介護関連の施設に連れて行ってくれるなど、様々な経験をさせてくれました。



刈屋先生のチャリティーバザーの手伝いをしました。



庄司 智則 助教

「口調は厳しいが、とても熱い心を持っている」と評判の先生。厳しい口調で叱咤激励するのは、学生のやる気をフツフツと湧かせるため。言われた学生は「自分のたちのことを考えてアドバイスしてくれている」とみんな納得していました。学生たちとの密接さは一歩かもしません。



課外活動の帰りに、庄司先生のご自宅にお邪魔しました。

途中で他学部へ転部するかどうか悩んでいた「まずは、柔道整復師の資格を取ってから」と背中を押してくれ、迷いを捨て勉強しました。合格した今、大変感謝しています。

「今のままじゃ国家試験は無理だぞ」と言われ続けました。絶対に合格したくないように日々勉強！意地の張り合いが、良い方向に向かいました。

女子って大変なの？

私たちの学年は、女子が1割ほど。男子だらけの環境で、柔道や実習などで実際に触れ合うことも多く、恥ずかしい気持ちもありましたが、「女子だからできない」という不利なことは特になかったかな。

そして女子が少ないからこそ、みんな仲が良かったですね。女性の柔道整復師はまだ少ないですが、ニーズは高まっているので、第一期生としてその先駆けとなれるようにがんばりたいです！



放課後や休み時間は？

室内でじっとしているよりも、体を動かすことが好きな人が多いので、外でスポーツを楽しんでいました。また、帝京杯(宇都宮キャンパスで開催される球技大会)では、柔道整復学科のチームがたくさん上位を占めていました。



バイト、ダンスサークル...etc.と、やりたいこと、とことん追求していました！



先生との関わりや、学生生活はどうだった？

忙しい毎日の中でも、先生と勉強以外の時間を楽しんだり、放課後や休み時間は運動したり、学生生活を大満喫。

時には厳しい指導者であり、また悩みなどの相談にのってくれたり、勇気や元気をくれる先生との時間は、公私にわたりみんなの力になりました。また、時間があればキャンパスで運動をしてリフレッシュするなど、柔道整復学科の学生は、とてもアクティブ。勉強だけではない、充実した学生生活を過ごしました。

謝恩会



3月21日卒業式の後、謝恩会を開催。学生も先生も仲良く大盛り上がり。4年分の感謝の気持ちを先生に笑顔で伝えました。

柔道整復学科NEWS

NEWS 01

今春から、トレーナー課程が誕生！



トレーナー課程の中心人物である、長畑芳仁講師(右)と剣持佑起助教(左)にお話を聞きました。

二つの資格を持つことで、仕事の領域が広がる。

柔道整復学科に、アスレティックトレーナーの受験資格を取得できる「トレーナー課程」が新たに開設された。この春入学した1年生から履修することができる。アスレティックトレーナーとは、スポーツ障害の予防、リハビリテーション、応急処置、コンディショニングなど、スポーツ医科的知識・技術を幅広く備えた専門家。スポーツ人口の増加に伴い仕事の領域も拡大し、アスレティックトレーナーの必要性も増加している。例えば、子どもたちや部活動、さらに高齢者が楽しむスポーツの現場において、正しい体の動かし方やケガを予防するための指導をすることも重要な役割になっている。

柔道整復師とアスレティックトレーナー、この二つの資格を取得するメリットを、「トレーナー課程」の中心人物としてこの春着任された、長畑先生と剣持先生に聞いてみた。

「アスレティックトレーナーは医療資格ではないので、スポーツ選手が骨折や脱臼をしても柔道整復師のようにその場で治療を行うことはできません。しかし、スポーツ選手のトレーナーとしての知識を習得したアスレティックトレーナーと、整復技術を持った柔道整復師のダブルライセンスがあれば、現場での応急対



応の領域は、はるかに広がります。また、ケガをして接骨院を訪れるスポーツ選手にとって、スポーツの知識と技術がある先生がいれば、安心して見てもらえる。だからスポーツ現場に限らず接骨院を開業した場合にも、アスレティックトレーナーの資格はとても有効であるという。

スポーツのケガは、ただ治すのではなく、いかに復帰させるかが重要。

スポーツ選手は、たとえ大きなケガをしても早く試合に出たいという思いがある。アスレティックトレーナーならば、医師との相談に基づいて、復帰に向けてのプログラムを作成し、選手の状態に応じたリハビリテーションの指導を行うことができる。「その人の今後のスポーツ人生を考えた上で、後遺症をできるだけ残さず、早く競技に復帰させられるかどうかは、アスレティックトレーナーの知識と指導方法にかかっています。選手にとっては、スポーツ生命に関わる大変重要な役割を担っていると思います。」と長畑先生はいう。



トレーナー課程誕生にあたり、キャンパス内のトレーニングルームのマシンがますます充実！

NEWS 02

日本初！柔道整復学科の大学院が開設されました！

柔道整復学をより高度な学問として確立する。

今年の4月、柔道整復学の大学院修士課程としては全国で初めてとなる、医療技術学研究所柔道整復学専攻が開設された。2008年に総合大学として初めて柔道整復学科が創設されたが、大学院はその第一期生の卒業に合わせ開設されたことになる。

「柔道整復学を学問として確立していかなければ、ただの技術で終わってしまうことになりません。しかし、大学院ができたので、これまで専門技術とされてきたものを学問的に研究し、科学的な検証を行うことにより広く治療に役立てることができるようになります。『術』から『学』へという流れや変化を起こすためにも、大学院の役割は重要です。」塩川先生は、大学院の必要性をそう話してくれた。

大学院は、柔道整復師免許の取得者が対象になるのだが、このことにより効率的な教育環境になると塩川先生はいう。「大学の4年間は、患者の外傷に対してあくまでも見学するだけで、実際に治療することはできません。しかし大学院の学生は、全員柔道整復師なので、先生と一緒に患者の患部に施術(治療)を行いながら効果的に学ぶことが可能になります。」

柔道整復学専攻主任教授の塩川光一郎先生



柔道整復師の可能性を広げる。

大学院では、学問の確立だけではなく、高度な専門的知識、診察能力を持った柔道整復師を養成したいという。「日本古来の医療技術を発展させて町の人を助ける。それを日本だけでなく、世界中に波及させたい。そのために、柔道整復師の技術や意識のレベルを上げていきたいと思っています。」

独立して優れた接骨院を経営することももちろん、他の医療機関とも共同してチーム医療を行えるような知識と技術を備えた柔道整復師。それが、今後必要な人材であると塩川先生は考えている。

そのような可能性に満ちた柔道整復師を育てるために、柔道整復学に限らず、生物学、生理学、解剖学、整形外科学などのあらゆる学問と積極的に関わり、幅広い領域の知識を習得できるような体制でサポートするとして、大学院への期待は膨らむばかりだ。

学科長からのメッセージ

第一期生の卒業を迎えて。

柔道整復学科 学科長 / 小松明教授

卒業生の前向きな姿勢が、後輩たちにも継承。

今年の3月、第一期生が無事に卒業することができました。先輩がいない環境で、不安な面もあったでしょう。しかし国家試験合格率が97%という実績を残せたことは、大いに評価されるべきことだと思います。同じ目標に向かい、学生同士が一丸となって試験勉強に取り組み姿勢、ラストスパートへの意気込みは、私たち教員も驚くほどでした。その熱意は間近で見ていた後輩たちにも大きな影響を与えたようで、すでに何人かの新4年生が、空いた教室を使って試験勉強をしたいと申し出ています。このような良き校風を今後継続できるよう、私たちもバックアップしていきます。

世界と交流できる、柔道整復師を目指す。

柔道整復学は日本独特の学問であり、柔道整復師もまた同様に日本独特の職業です。例えば、中国の骨学やアメリカのオステオパシーなども同じ伝統医療ですが、既に学問として成立しています。柔道が日本だけではなく世界の競技になったように、今後は、柔道整復学の学問としての確立を目指しながら、世界と交流できる柔道整復師を育てたいと思っています。この春大学院もできました。柔道整復師の可能性をどんどん広げていけるよう、学生の皆さんと一緒に、私たちも取り組んでいきたいと思えます。



手づくりの人工衛星が、宇宙に飛び立つ！

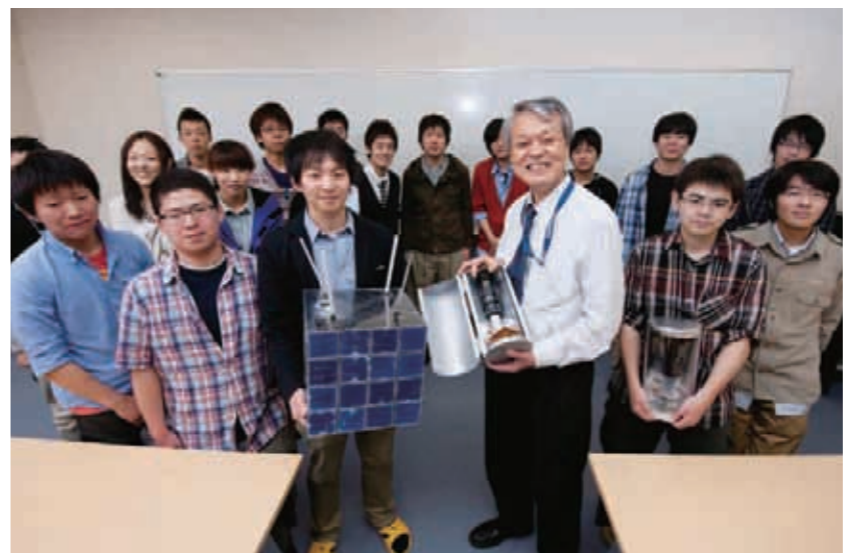
2013年度にJAXAが打ち上げるロケットに相乗りする小型衛星「Teikyosat-3」が見事選ばれました！
そこで、打ち上げの予定日に向けて、現在の心境や今後の予定をお伺いしました。

JAXAのロケットに相乗りすることが決定！

航空宇宙工学科の久保田先生、河村先生、そして「宇宙システム研究会」の学生たちが開発を進めていた「Teikyosat-3」が、来年度中に打ち上げられる。しかも今回は、宇宙航空研究開発機構(以下JAXA)がH2Aロケットで打ち上げる予定の、地球観測衛星に副衛星として相乗りすることになった。JAXAは昨年、H2Aロケットに相乗りする小型副衛星を公募し、7基が選ばれた。「Teikyosat-3」はそのうちの1つ。今回の公募では、人工衛星を使った実験の企画が条件になっており、「Teikyosat-3」では微生物の観察を行う。プロジェクトマネージャーの河村先生にその特徴を聞いた。今まで相乗りの小型衛星は、電子機器などが宇宙で使えるかどうかといった工学的なミッションがほとんど。バイオサイエンス学科との連携も考え、理学ミッションに着目し、粘菌を観察することにしました。アメリカ製の単細胞生物「粘菌」を、アルミ合金製の容器に入れ、地上と同じ状態に保ったまま宇宙に打ち上げる。そして宇宙放射線や無重量状態が、粘菌の胞子にどのような影響を及ぼすか、顕微鏡とデジタルカメラで観察するというものだ。画像データは宇都宮キャンパスに設置した地上局で、約1年かけて受信することになっている。

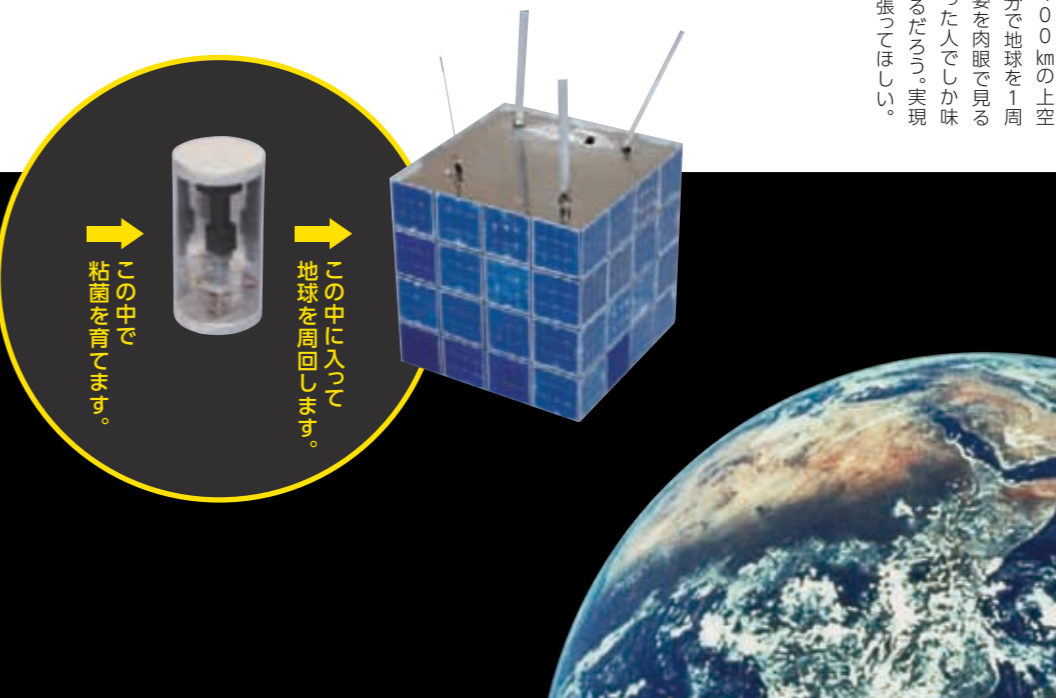
実現に向けて、これからは正念場。

実際に打ち上げることが決まり喜びに満ちていたが、開発を進めていくと実現するための苦労も生じてきたと河村先生はいう。「粘菌を眠らせた状態で宇宙に運び、その後は培養液を注入して目覚めさせるのですが、宇宙空間は過酷。どのような状態で運ばなければいけないのか、バイオサイエンスの知識も必要なので、悪戦苦闘しています。粘菌は適度な飢餓状態にならないと胞子を形成しない。栄養を与えて復活させ、今度は栄養を取り除き胞子を形成させるといった地上実験を、バイオサイエンス学科・医療技術学部薬道整復学科の先生に協力してもらいながら繰り返し行っている。宇宙で実験が成功すれば、放射線の強い環境において無人で、しかも低コストでの生物実験が可能になります。難しい課題だが、新たな可能性の広がりが期待できるのだ。また今回は相乗りということでも強い責任を感じていると久保田先生はいう。「Teikyosat-3」が、ロケット内で爆発したり、培養液が漏れてロケット本体や他の衛星に支障がでることは許されないのであります。今までの以上に綿密に開発を進めていきます。」
打ち上げ予定は来年度だが、それまでにJAXAによる設計や試作品の安全審査が3回ある。全てパスして初めて、打ち上げ用の衛星づくりに進めるというわけだ。「試行錯誤の繰り返しで、簡単な道ではないですが、この貴重なチャンスに学生たちと一緒に活かしたい。真剣に取り組む皆の熱意を無駄にはしたくないですから。最後に河村先生はそう意気込みを語ってくれた。自分たちでつくった



宇宙システム研究会のメンバーと、プロジェクトマネージャーの河村政昭助教(写真中心左)、久保田弘敏教授(写真中心右)。

人工衛星が、地上から400kmの上空を飛行する。しかも約90分で地球を1周するという。飛んでいる姿を肉眼で見ることができないが、携わった人でしか味わえないワクワク感があるだろう。実現に向けて、これからも頑張ってください。



電気自動車を分解してみよう！

電気自動車を分解し、その構造や部品を見学する勉強会が宇都宮キャンパスで開催されました。通常ではなかなか見ることができない自動車の分解過程は、参加者全員に貴重な体験となりました。

学生が主体となり行われた分解作業。

今年の3月、栃木県と東京大学が中心となり、宇都宮キャンパスのオートモビル・テクノロジーセンターで、電気自動車(以下EV)の分解作業が行われた。これは、県が所有する日産自動車「リーフ」の分解過程を「ちぎ自動車産業振興協議会」の会員企業を中心に公開し、EVの構造を把握してもらうことで、関連部品への市場参入を促進する狙いがあった。

木昭夫准教授が進行役となり、技術的なポイントを解説した。埼玉県や茨城県などの自治体でもEVの分解を行っているが、栃木県では学生が主体となり分解作業を行ったことが特徴的だ。また、今回の分解では、まだ誰も実践していない領域まで細かく分解しようという思いが、青木先生にはあった。「分解という言葉のみを聞く、また組み立て直して自動車として乗るんだらう。そう思った方もいました。しかし今回は、組み立て直すことが出来ないうらいまで分解し、EVの構造はもちろん、ネジ一本の部品に至るまで参加者には見てほしいと思いました」。写真をご覧いただくのとわかると思うが、みなさんが想像しているレベルを超えているのではないだろうか。参加者から、「ここまで分解するとは思わなかった」という声ととともに、本音が勉強になったという感想が多かったが、それは誰もが驚くほどの詳細な分解だったからだろう。

車全体を知る、貴重な体験。

EVはガソリンに代わり電気で作動する自動車であるため、自分たちには関係のない分野だ、と思っていた機械加工関連企業の人たちも多かったという。「例えば、駆動系のモーターも自動車がスムーズに走るために必要なベアリングも高い機械加工の技術が必須。EVは機械加工の産物なんですね。電気という言葉に惑わされないでほしいと思います」。分解する各段階において、青木先生は見ただけではわからないポイントを分かりやすく解説したが、企業はもちろんだと、学生にもとても役立つ時間となった。「整備の過程では立ち会えない場面を見学することができました。これはとても貴重な体験。ATCでは整備士の資格取得を目指しますが、その資格取得だけが目的ではありません。自動車の構造をしっかり理解した上で、設計や開発に携われるような人材になってほしいです」



分解作業は、ATCの3・4年生と、一級および二級自動車整備士資格を持っている先生により行いました。



宇都宮キャンパスからのお知らせ

Utsunomiya campus Information

女性の先生が増えました



松永典子講師(右)
樋浦郷子講師(左)

この春、宇都宮キャンパスに新しく着任された総合基礎科目の女性の先生お二人をご紹介します。

【質問内容】①ご自身の性格を簡潔に言うと？ ②授業を通して伝えたいことは？ ③キャンパスでやってみたいことは？

松永典子講師 担当科目：英語

①体力のないイノシシ。目的にむかってまっしぐらですが、客観的に見るとかなりのんびりしていると思います。
②大学とは、見知らぬ誰かの考えを理解する力と、まだ見ぬ誰かに自分の考えを伝える力を学ぶ場所です。それはどんな仕事でも必ず役に立つスキル。そのひとつに語学があると思っています。語学を学びながら、ご自分の関心がどこにあり、それを誰にどうやって伝えたいのかを見極めてください。
③広大な宇都宮キャンパスのどこに、どんなものがあるって、どんな人が、何をしているのかを、これから探検していきたいです。

樋浦郷子講師 担当科目：教職関連科目

①動物占いだとライオンですが、実際は犬っぽいんです。中型犬です。小型犬ほど小回りがきかないし、大型犬ほどゆったりもしていません。たまに吠えます。
②毎日何気なく過ぎてきたガッコウは、不可思議で面白くて深いということ。自分の足元を見つめかえてみることで、社会・世界・宇宙の中の自分の座標を知っていただけたらと嬉しです。
③木々と鳥の観察です。すでに始めています。

ドラマのロケ地になりました



キャンパスの様々な場所でもロケ(撮影)が行われました！
自分流ひろばにて

宇宙トマト勉強会



勉強会に参加したメンバーの皆さん

宇都宮キャンパス後援会の取り組み



寄贈していただいた図書や視聴覚教材

宇都宮キャンパスで今年の1月より放送されたテレビドラマ「妄想捜査―桑潟幸一准教授のスタイリッシュな生活―」のロケ(撮影)が2011年12月〜2012年2月にかけて行われました。撮影場所は校庭(自分流ひろば)、メイン通路、教室、格納庫、学生食堂、体育施設など。
番組の中では「たらちね国際女子大学」のキャンパスの設定で、メインロケ地として多くの俳優、スタッフが訪れました。

様々な種子を宇宙空間へ打ち上げ一定期間保管し、その後、全国の様々な企業や団体と一緒に、小学生から高校生が宇宙と植物について学ぶプロジェクト「宇宙教育プロジェクト」(株)リパネス主催。そののひとつ、「宇宙トマトプロジェクト」は3県、合計5つの高校が参加。栃木県では帝京大学グループが協賛し、宇都宮高等学校、宇都宮白楊高等学校、那須拓陽高等学校の3校で研究を実施しています。3月20日に開催された「トマト勉強会」では、植物ホルモンの研究者であるバイオサイエンス学科の朝比奈雅志先生も講師として招かれ、「植物の傷が治る仕組みについて」の講演を行いました。

今年も帝京大学宇都宮キャンパス後援会から、様々なご支援をいただいています。その一部をご紹介します。
①図書683冊、視聴覚教材(CD 93枚、DVD 67枚、ビデオ 31本)を寄贈していただきました。
②後援会奨学生を10名に決定、奨学金を給付していただきました。
③東日本大震災で被災した学生20名に見舞金を贈呈していただきました。
④就職支援として、卒業生による就職講演会、SPI対策講座など、広くご支援いただきました。
⑤成績優秀者報奨金として、図書券を2回にわたり贈呈いただきました。
⑥学内環境整備として、マロニエを植樹していただきました。

1号館入口近くに植樹されたマロニエ。

ピアサポートルーム開設



1号館1Fに開設されました。ぜひ気軽に足を運んでください！

学生のみならず、より豊かなキャンパスライフを送ることを願い、1号館1Fに「ピアサポートルーム」を開設しました。「ピアサポート」とは仲間(ピア)同士の助け合い(サポート)相互支援活動を意味します。これは充実した学生生活を送るためには欠かせない活動です。ピアサポートのネットワークをキャンパス内に広め、学生同士による相互支援によって新たなコミュニティを数多く作り、学生同士が学び合えるキャンパスを目指します。目的は、
①学生の能動的態度や「ミニメーカー」能力の向上
②自主的に課題に取り組む学生の増加
③学生の一体感や協調性の育成
④学生のコミュニティの育成
の4点。今後の具体的な取り組みとしては、ソーシャルスキルトレーニングプログラムの実施、サークルリーダー人材育成研修、ボランティア活動のための研修と支援、アートセラピーの実施などを予定しています。

臨床工学技士を目指す方へ



臨床工学技士とは、生命維持装置の操作や保守点検を行う国家資格です。

ヒューマン情報システム学科より、一定の条件を満たし、4年次に帝京大学グループ校である帝京短期大学臨床工学専攻科で実習・講義を受講した4名が国家試験を受験し、見事全員合格！今年度も条件を満たした4名が国家試験合格に向けて始動しました。臨床工学技士を目指すみなさんのために、4月に着任した小川充洋先生がアドバイザー・カウンセリング・相談などを付けています。
「今学んでいる科目と国家試験の関係は？」これまでの学習内容で、解ける問題ってあるの？
など、疑問やわからないことはお気軽に！



ヘリパイロットコースの近況



自家用操縦士国家試験全員合格！事業用学科試験に向けて、気合いの入る3年生。

2010年に航空宇宙工学科に開設されたヘリパイロットコース。この4月、1期生が3年生に進級しました。昨秋には、国土交通省の「自家用操縦士国家試験」に全員合格。この春より「事業用操縦士国家試験」を目指し訓練を開始。3月の合宿形式による訓練生活を経て、4月に実施された機長審査では事業用国家試験に必要な機長飛行時間取得の能力も認められました。目下は、事業用学科試験に向け励んでいます。
昨年入学した2期生(2年生)は、昨秋に全員が単独飛行達成。最初の開門を突破しました。4月より前期の飛行訓練が、5月からは航法訓練がスタート。7月の自家用学科試験に向け、猛勉強中です。
そして、この春入学したばかりの3期生(1年生)は、後期から行われる飛行訓練に向けて、ヘリパイロットコース生としての基本的な心得や知識習得のための科目を履修中です。
今後引き続きヘリパイロットコースの近況をお伝えしていきます。



単独飛行バンザイ！

菜の花畑が咲きました！



菜の花畑復活の第一歩が花開きました！

前号の「U」で紹介した、地域経済学科の「菜の花畑復活プロジェクト」。埼玉県秩父市の耕作放棄地に菜の花を咲かせて地域活性化につなげようと、埼玉県と協力し昨年夏からスタートした取り組みです。その中心となる、山田耕生先生に近況をお聞きしました。
「昨年10月に種をまいた菜の花が4月下旬、見事に黄色い花を咲かせました。畑一面」とまではいかなかったのですが、二年前までは雑草が生えて荒れていた土地だったことを考えると、最初の滑り出しは上々と言ったところだと思えます。ある日には、菜の花畑の絵を描きにやってきましたグループ客もみえたとのこと。菜の花畑復活プロジェクトは今年度も引き続き行っています。早速5月から現地を訪問し、菜種の採取、雑草の除去などの活動を始めています。来春には今年以上に菜の花畑が広がるように取り組んでいきます」。さらに、今年はエゴマ(シンの葉と同種)の栽培や、ブログでの情報発信など、活動を広げていく予定とのこと。今年も目が離せません！



急勾配の土地に、菜の花畑を作りました。